

これまでに急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さんへ
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院外科では「急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術において CRP を指標とした開腹移行率の比較」という臨床研究を行っています。

この研究は急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の困難度に、血液検査項目である CRP が影響しているか調べることを主な目的としています。

そのため、過去に急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さんの、電子カルテ記録および血液検査結果を使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦 2015 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 1 月 31 日
データ収集期間	審査委員会承認後から西暦 2020 年 2 月 28 日

○調査研究の対象

これまでに急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さんの、電子カルテ記録および血液検査結果を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院外科の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、**西暦 2020 年 2 月末日まで**にお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 外科
実施および連絡担当者：松井優悟
TEL：078-576-5251（代）